

令和7年度（2025年度）学校教育自己診断【教職員】

回答数 35

質問	肯定回答	■ そう思う	■ ややそう思う	■ あまり思わない	■ まったく思わない
1 本校の生徒は学習とアルバイトの両立ができていると思う。	65.7%	6%	60%	29%	
2 本校には生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	97.1%	69%	29%	3%	
3 学校は教育活動全般について、生徒や保護者の願いに応えている。	97.1%	40%	57%	3%	
4 人権や防災、福祉についてしっかり取り組んでいる。	100.0%	83%	17%	0%	
5 心身の配慮や支援を要する生徒への指導や健康管理等について共通理解をはかっている。	94.3%	63%	31%	6%	
6 生徒に自己のあり方や生き方について考える機会を設けている。	88.6%	66%	23%	11%	
7 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導をおこなっている。	97.1%	63%	34%	3%	
8 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	91.4%	60%	31%	9%	
9 生徒の支援や指導について家庭との密接な連携ができています。	91.4%	43%	49%	9%	
10 生徒の問題行動がおきた時、組織的に対応できる体制が整っている。	100.0%	63%	37%	0%	
11 体罰やセクシャル・ハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢にもとづいた生徒指導がおこなわれている。	100.0%	69%	31%	0%	
12 生徒一人ひとりが納得のできる進路選択が行えるよう、きめ細かい指導を行っている。	94.3%	46%	49%	3%	
13 教職員の適性や能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされている。	80.0%	14%	66%	17%	
14 各分掌や各学年間の連携が円滑に行われ、有機的に機能している。	85.7%	17%	69%	14%	
15 学年会議で生徒情報に関する円滑な情報共有や課題検討が行われている。	88.6%	60%	29%	11%	
16 学校の教育活動について、教職員間で必要な調整打ち合わせが円滑に行われている。	85.7%	20%	66%	14%	
17 教員間で授業方法等や学習の到達度等についてよく話し合いを行っている。	68.6%	20%	49%	20%	
18 学校として教育全般にわたる評価をおこない、次年度に活かしている。	80.0%	23%	57%	14%	
19 学校は生徒の活動の場として、安全安心に配慮されて整備されている。	80.0%	43%	37%	17%	
20 事故・事件・災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	74.3%	31%	43%	23%	
21 校長や運営委員会は教育活動に必要な情報を積極的に収集し、教職員や生徒・保護者への周知に努めている。	91.4%	46%	46%	9%	
22 学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。	97.1%	74%	23%	3%	

↑ 右のグラフの数値の合計と一致していないのは、四捨五入の関係です。